

# 火気器具を使用する際の火災予防上のポイント

祭礼、縁日、花火大会、展示会などの不特定多数の人が集まるイベントにおいて、火災が発生した場合には、初期消火が重要になります。イベントで火気を使用する器具等を使用する場合は、**※火災予防条例で消火器の準備が義務(平成26年8月1日施行)となりました。**

各種イベントの主催者、出店者及び関係者の皆様には、多くの方が安心してイベントに参加できますよう、下記のポイントに注意し、火災予防にご協力をお願いいたします。

## 火災予防上のポイント!

- ① 火気器具周辺には、可燃物を置かないようにしましょう。
- ② 火気器具は、安定した場所や状態で使用しましょう。
- ③ 火気器具は、避難の障害にならないようにしましょう。
- ④ 火気器具の使用中は、その場を離れないようにしましょう。
- ⑤ 電気器具を使用する場合は、タコ足配線はやめましょう。また、水気等でショートしないようにしましょう。
- ⑥ その他、下記イラストを参考に火災予防のチェックをしましょう。

ガソリン  
携行缶



- ・ガソリンは、金属製容器で貯蔵し、高温になるところや直射日光をさけ通気性の良い場所に保管する。
- ・容器の蓋を開ける前に圧力調整ネジを緩めて圧抜きをする。
- ・ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を出す機械器具等を使用しない。

- ・燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止してから安全な場所で給油する。
- ・火気から離れた避難の障害にならない位置で使用する。
- ・長時間の稼働は、エンジンの過熱となります。適時にエンジンを停止させましょう。

発電機



・火気周辺には可燃物を置かない。

ダンボール等可燃物



## やたい消防



ホースと器具・ポンベの接続部には、ホースバンドを取り付けること。

風除け等は不燃性の物を使用する。

振動や衝撃で容易に転倒、又は落下するおそれのないように使用する。

コンロ等

不燃性の台を使用する。

消火器



LPガスボンベ



- ・ポンベは水平な場所に置き、鎖等で転倒防止措置を講じること。
- ・直射日光や火気の近くを避け、風通しの良い場所に設置する。
- ・ホースはひび割れや劣化したものを使用しないこと。
- ・使用後は、器具栓だけでなく元栓も閉めること。

・火災が発生した場合に備え、火気器具の近くに消火器を準備する。  
**※不特定多数の人が集まる各種のイベントにおいて火気器具等を使用する場合は、消火器の準備と消防への露店の届出が義務となりました。**

お問い合わせ・・・

鎌ヶ谷市消防本部 予防課  
鎌ヶ谷市くぬぎ山消防署

047-444-3272  
047-442-1119

鎌ヶ谷市中央消防署  
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷消防署

047-444-3222  
047-442-6119